

3. 「令和4年度音響基礎講習会」開催報告

日本音響材料協会 運営委員会

令和4年7月20日(水)に吉野石膏株式会社虎ノ門ビルにて、「音響基礎講習会」を開催いたしました。一昨年・昨年同様、今年度もコロナ禍での講習会となりましたが、皆様に感染防止対策のご協力いただき開催する事が出来ました。

音響基礎講習会は、新入社員の方、音の基礎知識を改めて勉強したい方、最近の音響技術動向を確認されたい方、異動などにより音響関連の知識が必要となった方などを対象として年1回開催しております。

講師陣は、音の専門家として活躍されている実務者の方々ですので、経験談なども交えながら、実際に音を体感しながら、音の基礎知識を学ぶことができる講習会です。

今回の音響基礎講習会のテーマは、次の6つでした。

1. 音の基礎知識
2. 音響材料(吸音・遮音)
3. 騒音の防止
4. 振動の防止／固体音と体感振動の防止
5. 室内音場
6. 音響測定

各テーマの中で参考文献として「音響技術」のバックナンバーが多く紹介されておりました。更に知識を深めたい方は、「音響技術」から学んでみるのはいかがでしょうか。日本音響材料協会では過去の「音響技術」のDVDやバックナンバーの販売をしておりますので、是非、日本音響材料協会ホームページをご覧ください。



<写真 講習会オープニング>

【テーマと講師】

1. 音の基礎知識

講師：星野 康 氏(日本環境アメニティ(株))



音の伝わり方や拡散、反射、屈折、回折、干渉といった現象、音の三要素、音の単位であるdBに関する説明、騒音の評価方法や法規制について、基礎を丁寧に解説していただきました。

2. 音響材料(吸音・遮音)

講師：岡本 健久 氏(日本環境アメニティ(株))



<写真 音響材料サンプル>

吸音・遮音に関する基礎の説明、吸音材料と遮音材料の種類や特性、材料の選定方法・使用例など音響材料のサンプルを紹介していただきながらとても解りやすく解説していただきました。

3. 騒音の防止

講師：小池 宏寿 氏(株サンオー)



騒音防止設計の手順について、体系的に解説いただきました。間違いやすい騒音対策や遮音構造別事例では具体的な事例紹介が多くあり、大変おもしろい内容でした。

4. 振動の防止 ～固体音と体感振動の防止～

講師：山野 彰太 氏(ヤクモ株式会社)



〈写真 防振・制振材料〉

振動に起因した固体伝搬音による騒音が問題になる事があります。振動の基礎知識から振動防止の方法に

ついて、解りやすく解説していただきました。体感振動対策も含めて、防振・制振材料とその効果など、理解が深まったのではないのでしょうか。

5. 室内音場

講師：根木 健太 氏(日本音響エンジニアリング(株))



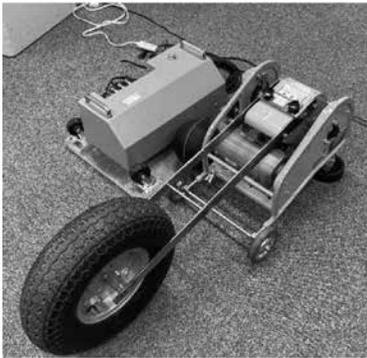
その空間に合った響きとはどのようなものなのか、音環境を重視する施設、例えばホール・映画館・無響室などは勿論のこと、音は特別重要視されないと考えられる施設(体育館、教室、会議室)などにおいても音響障害の無い、快適な音環境を作る事は大切です。室内音場設計の注意点を、多くの事例紹介や可聴化シミュレーションと共に詳しく解説していただきました。

6. 音響測定

講師：平田 武士 氏(日本音響エンジニアリング(株))



音響測定を実施することの意味と目的、音響関係測定機器の説明、測定方法、評価方法について詳しく解説していただきました。また、体験デモでの音圧レベル差体験や床衝撃音測定、音の到来方向がわかるアコースティックカメラ、音源探査SoundGraphyなども紹介していただきました。



〈写真 床衝撃音発生装置 バングマシン〉

日本音響材料協会では、基礎講習会以外にも建築学会や業界の第一線で活躍されている講師を招き、より専門的な知識習得のための「技術講習会」や防音の初歩を習得するための「防音勉強会」なども計画しておりますので、興味のある方は日本音響材料協会のホームページをご覧ください。

◆音響技術のバックナンバーは、1冊から購入できます。また、No.187号までのバックナンバーはDVD1枚(令和2年2月発売)に収録しております。

〈音響技術 バックナンバーリスト〉

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| No198 (vol.51 no.2 2022.6) | No.180 (vol.46 no.4 2017.12) |
| 〈特集〉 With・Afterコロナと音環境 | 〈特集〉 建物の環境振動を巡る最近の話題 |
| No197 (vol.51 no.1 2022.3) | No.179 (vol.46 no.3 2017.9) |
| 〈特集〉 音とスポーツ | 〈特集〉 木造建築物の新動向と遮音対策 |
| No196 (vol.50 no.4 2021.12) | No.178 (vol.46 no.2 2017.6) |
| 〈特集〉 最近の床衝撃音対策技術 | 〈特集〉 いまさら聞けない建具のこと |
| No195 (vol.50 no.3 2021.9) | No.177 (vol.46 no.1 2017.3) |
| 〈特集〉 環境振動に係わる評価・対策・測定の最新動向 | 〈特集〉 共鳴・共振の基礎と応用 |
| No194 (vol.50 no.2 2021.6) | No.176 (vol.45 no.4 2016.12) |
| 〈特集〉 初心者のための音環境のアンケート調査・心理評価実験<超>入門 | 〈特集〉 教育・保育施設の音環境 |
| No193 (vol.50 no.1 2021.3) | No.175 (vol.45 no.3 2016.9) |
| 〈特集〉 子どもと音環境 | 〈特集〉 住宅のリフォームと音環境性能 |
| No192 (vol.49 no.4 2020.12) | No.174 (vol.45 no.2 2016.6) |
| 〈特集〉 会議と音響 | 〈特集〉 床衝撃音対策の新しい技術 |
| No191 (vol.49 no.3 2020.9) | No.173 (vol.45 no.1 2016.3) |
| 〈特集〉 超高層建築物の音と振動対策 | 〈特集〉 マイクロホンの使い方 |
| No190 (vol.49 no.2 2020.6) | No.172 (vol.44 no.4 2015.12) |
| 〈特集〉 音環境に係わる法律・基準・規格の動向 | 〈特集〉 初心者のための音響評価指標入門 |
| No189 (vol.49 no.1 2020.3) | No.171 (vol.44 no.3 2015.9) |
| 〈特集〉 音響のディテール | 〈特集〉 最近のオフィスに求められる音・振動環境 |
| No188 (vol.48 no.4 2019.12) | No.170 (vol.44 no.2 2015.6) |
| 〈特集〉 新しい遮音・吸音材料と活用技術 | 〈特集〉 特色ある測定法の話 |
| No.187 (vol.48 no.3 2019.9) | No.169 (vol.44 no.1 2015.3) |
| 〈特集〉 固体音問題の発生と対策、評価 | 〈特集〉 残響の理論と実際 |
| No.186 (vol.48 no.2 2019.6) | No.168 (vol.43 no.4 2014.12) |
| 〈特集〉 オフィスの音と会話 | 〈特集〉 工場の騒音・振動対策 |
| No.185 (vol.48 no.1 2019.3) | No.167 (vol.43 no.3 2014.9) |
| 〈特集〉 波動数値シミュレーションの使い方・使われ方 | 〈特集〉 遮音性能基準を考える ～集合住宅を中心として～ |
| No.184 (vol.47 no.4 2018.12) | No.166 (vol.43 no.2 2014.6) |
| 〈特集〉 屋外の騒音源の伝搬特性と対策技術 | 〈特集〉 伝統の継承、新たな挑戦 - ホールの改修・改築 |
| No.183 (vol.47 no.3 2018.9) | No.165 (vol.43 no.1 2014.3) |
| 〈特集〉 床衝撃音の測定法・評価法に関する現状と課題 | 〈特集〉 避難所・応急仮設住宅の音響性能 |
| No.182 (vol.47 no.2 2018.6) | No.164 (vol.42 no.4 2013.12) |
| 〈特集〉 最近の様々なホール事例 | 〈特集〉 集合住宅を支える最近の遮音対策技術 |
| No.181 (vol.47 no.1 2018.3) | No.163 (vol.42 no.3 2013.9) |
| 〈特集〉 知っておきたい遮音・吸音・防振の基礎知識 | 〈特集〉 鉄道騒音 測定・評価・予測・対策 最新技術への取り組み |

〈購入申込先〉 一般社団法人日本音響材料協会

〒169-0073 東京都新宿区百人町3丁目21番16号 日本ガラス工業センタービル2階
TEL 03-6384-1827 FAX 03-6384-1828